

【平成 27 年度・前期学期・マクロ経済学 I・課題 3】

☆ 平成 27 年 6 月 16 日・講義開始時締め切り

【問1】ある経済が閉鎖経済で、民間部門によってのみ構成されているとする。また、次のよう、この経済の財の市場を表す式が与えられている。これらについて後の問に答えなさい。

消費関数： $C=20+0.6Y$

独立投資： $I=40$

但し、 C は消費支出、 I は投資支出、 Y は国民所得であるとする。

(ア) 基礎消費はいくらになるか、また限界消費性向 (MPC) はいくつであるか特定しなさい。

(イ) この経済の総需要を表わしなさい。

(ウ) この経済の均衡条件を数式であらわし、均衡国民所得を求めなさい。

(エ) 45° 線図を描き、決定した均衡国民所得を示す図を作成しなさい。

(オ) 仮にこの経済の潜在生産高が $Y_f=130$ であったとする。この時この経済にはインフレギャップとデフレギャップのどちらが存在するか？またその大きさはどの程度になるか示しなさい。

(カ) (エ) で描いた図に (オ) の状況を書き加えなさい。

【問2】次の各問いに答えなさい。

(1) 日本名目GDPが2008年に約501兆円であり、5年後の2013年には約480兆円であった。また、2010年基準の消費者物価指数は2008年が102.1、2013年には100.4であった。それぞれの年の実質GDPを計算し、2008年から2013年の間の実質GDPの成長率を求めなさい。

(2) 次の項目のうちGDPに含まれないものはどれか示しなさい。

- i. キャベツ農家が、作物の一部を自分の家で消費した
- ii. 株式市場でソニーの株を、1千万円分購入した。
- iii. 日本の支社で働く外国企業の外国人が得る所得。
- iv. マンションを所有している人が、そのマンションを賃貸したとした時の家賃。
- v. サラリーマンが家庭菜園できゅうりを作って消費した場合のきゅうりの市場価格。

(3) 財政の3つの機能は何であることを述べ、それぞれを説明しなさい。

(4) 税の3原則とは何であることを述べ、それぞれを説明しなさい。

(5) 日本の財政について、次の項目が歳入または歳出において何兆円規模か示し、それぞれ歳入または歳出のどのくらいの割合を占めているか示しなさい。

- | | |
|---------|---------------|
| a. 消費税収 | d. 文教および科学振興費 |
| b. 所得税収 | e. 社会保障費 |
| c. 公債費 | f. 国際費 |

(6) 日本の2015年度のGDPが概ね480兆円程度であるとする、国の歳出はGDPに対して何%程度になるか計算しなさい。